

## 研修会報告

平成 31 年 2 月 19 日

文責：輸血検査部門 岩橋 隆之

研修会テーマ「異常反応の解決策を探る ～こんな時、輸血する為にはどうすればいい?～」

開催日時 平成 31 年 2 月 17 日 (土) 12:55～17:20

会場 東北労災病院 多目的ホール

司会：東北労災病院 岩橋 隆之

症例提示① ～輸血依頼時の製剤選択を考える～

解説 東北労災病院 岩橋 隆之 技師

症例提示② ～血液型検査異常時の解決法を考える～

解説 仙台医療センター 原田 恵里香 技師

症例提示③ ～不規則抗体検査陽性時の対応方法を考える～

解説 東北大学病院 岩木 啓太 技師

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 29 名 非会員 0 名 賛助会員 0 名 実務委員 (講師含む) 5 名

学生 0 名 計 34 名

### 内容

今回の輸血部門研修会は輸血検査において異常反応を示した症例を 3 題用意し、講師を務めた 3 名の技師が解説を担当した。輸血検査で異常反応を示した場合、問題解決能力だけでなく、その結果を臨床へ的確に伝え、安全な輸血医療へと導いていく能力が要求される。しかしどういった事を伝えればいいのか、具体的な臨床への報告の仕方まで記載している参考書は少ない為、具体的な症例を提示し、追加検査から結果報告までの一連の流れを示す事で、よりルーチン業務とリンクさせた研修内容になったと思う。また今回は症例を講師が一方向的に解説するのではなく、参加者同士で意見を討論してもらい、グループごとにディスカッションしながら、問題解決へ向けて自分達でアプローチしてもらおう参加型の形式を取り入れて開催した。他者の意見を聞く事で気づく事や学ぶ事も多く、また自分の意見を伝える事でコンサルテーション能力の向上も図れたのではないかと思う。輸血分野は正しい結果を導き出すだけでなく、他職種との連携が重要になる為、今後も基礎的な知識を養う研修会だけでなく、実際の業務へ活かせるコミュニケーションスキルを磨くような研修会も企画していきたいと思う。

今後も、会員の輸血検査業務に対する不安を軽減できるような、様々な研修会を企画していきたいと思います。